

福山市 青少年センターだより

2019年度 第2号

福山市青少年センター
福山市西町1-1-1 エフピコRiM 地下2階
(青少年・女性活躍推進課内)
TEL 084-928-1046
FAX 084-927-9121
seishounen-josei@city.fukuyama.hiroshima.jp

11月は「子供・若者育成支援強調月間」です！

内閣府では、毎年11月を「子供・若者育成支援強調月間」と定めています。子供・若者育成支援に関する国民運動の一層の充実や定着を図ることを目的とし、福山市では講演会や街頭啓発活動などを集中的に実施しています。



広島県の青少年のマスコット
ゆっぴー



子供・若者育成支援強調月間 講演会 「青少年のスマートフォンの適切な利用について」

日時：2019年11月5日（火）19:00～20:30

場所：ローズコム4階 大会議室

講師：瀬町 俊彦さん

（KDDI スマホ・ケータイ安全教室 認定講師）

街頭啓発活動

日時：2019年11月7日（木）

場所：JR福山駅 南口

広島県・広島県民会議等と合同で実施

「地域で子どもを見守り、育てていくためには」

日時：2019年11月26日（火）19:00～20:30

場所：西部市民センター ホール

講師：和田 晋さん

（広島県教育委員会教育センター主事）

知っていますか？『少年サポートセンターふくやま』

少年サポートルームとは・・・

子どもの非行防止や立ち直り支援、課題を抱える学校への支援など、子どもたちの健全育成に関わる数々の取組を行うため、2013年（平成25年）9月に、広島県警察本部、福山市教育委員会、福山市（青少年センター）の三者が連携し開所されました。

『少年サポートセンターふくやま』では、三者による定例会議を開催し課題やその解決方法、今後の活動内容などそれぞれの視点から意見を持ち寄り、非行防止活動に活かしています。



どんなことをしているの？

居場所づくり活動として、課題のある子どもたちには、毎週木曜日に『少年サポートルーム』を開催する中で、ボランティアの協力を得て、体験活動や学習支援などを実施し、コミュニケーションの育みや、ルール・決まりなどについて学び、子どもたちの立ち直りに向けた支援も行っています。

【問】少年サポートセンターふくやま ☎084-925-7011

～毎月17日は「青少年の日」 毎月第3日曜日は「家族の日」～

指導員の窓



福山市青少年センターの指導員として3年目になりました。他の指導員と一緒に、午前中は福山駅周辺、午後は大型商業施設やスクールサポーターが配置されている中学校の周辺を巡回しています。その中で、今回は、福山駅等で行っている朝の遅刻指導で感じたことを書きたいと思います。

先日、駅で登校時間に遅れているような高校生に「おはようございます。」「福山市の指導員ですが…。」と声をかけると、その生徒はびっくりして緊張し、こわばった表情で、「あの…遅刻しただけなんですけど…」と答えました。声を掛けられて、補導対象となったことがとてつもなく大変な事として受け止めようです。声かけをした時の生徒の反応は、この生徒のような場合は少なく、多くの場合「寝坊して遅刻です。」と笑顔で答える生徒が多く、中には、面倒くさそうにこちらをちらっと見て、無視して素通りしてしまう生徒もいます。

『補導』という言葉が辞書で引くと、国語辞典には、『手を貸して良い方へ導くこと』、広辞苑には『少年などを正しい方向に助け、導くこと』とあります。まさしく先輩指導員からの教えである、『補導とは、子どもたちの健やかな成長のために、補い導くものである』ということそのものです。しかし、一般的に「補導された」といえば、『警察に検挙され、厳しい指導を受けた』といった印象が強く、前述のようなイメージは必ずしも市民権を得てはいません。平成20年半ばに私たちの職名も、青少年センター補導員から指導員に変わり、福山市中央青少年補導員が、中央青少年育成員と変わっています。やはり、『補導』という言葉の持つイメージがあまりよろしくないという事なのだろうと思います。

『補導する側』と『補導される側』にはその意識や受け止めに大きな差がある場合があります。初めの女子高校生のような反応が起こることもあります。このことを踏まえ、笑顔で優しい言葉での声かけをこれからも続けていきたいと思っています。(宇田)

中央青少年育成員のコーナー



中央青少年育成員の活動の一環に、挨拶・補導（喫煙・怠学等）等々がある。3つの（福山東・西・北）警察署管内に依りて、育成員も3つの班に分かれる。第3班に属する神辺・竹尋・御野・湯田・中条・道上学区の育成員は旧態依然の7班（神辺6学区）時代から、青少年センター実施の活動以外に独自の挨拶運動を、神辺・湯田村・道上の各駅で行っている。我々は補導より人との出会いの最初の言葉＝挨拶に主眼を置き、揃いのユニフォーム・身分証・腕章も付け所在をはっきりさせて声を掛けるも、学生・社会人からの無視も続く。が、熱い気持ちの面々は後に引かない。改札口に近づいてみたり、声のオクターブを上げてみたり。挨拶運動の回数を重ねる度、笑顔の挨拶が返ってくることも多くなる。笑顔や顔馴染みの学生に対しては、時折「気を付けて行っておいで」より、「（学校を）楽しんでおいで」と云う言葉が出ることもある。

9月の夕方のこと。小学生の登校時の集合場所に立っていると、背後から「ただいま」の声。下校中の女子高生である。自転車を止めて開口一番、「おじちゃんまたタバコを吸っている、身体に良くないんだから…」と可愛く喋る。今回が初めてではない。懲りないおじさんである。どちらが育成員なのか…？（御野学区 安原）



編集後記

いつも、青少年センターだよりをご覧いただきありがとうございます。青少年のためにできることは…と毎回考えさせられながら作成しています。今後も、センターでの取組や青少年に関する情報を、「読みやすく分かりやすく」を心がけて発信していきます。(松本)